

令和元年度

小平・村山・大和衛生組合
一般会計歳入歳出決算
審 査 意 見 書

小平・村山・大和衛生組合監査委員

小・村・大監発第10号

令和2年11月5日

小平・村山・大和衛生組合

管理者 小林正則 殿

小平・村山・大和衛生組合

監査委員 岡村健司

監査委員 三ツ寺俊行

監査委員 石黒照久

令和元年度小平・村山・大和衛生組合

一般会計歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和元年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算を審査した結果、別紙のとおり意見を付します。

令和元年度小平・村山・大和衛生組合
一般会計歳入歳出決算審査意見書

1 審査の期日

令和2年10月19日(月)

2 審査の場所

小平・村山・大和衛生組合 4・5号ごみ焼却施設3階 大会議室

3 審査の対象

令和元年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算

4 審査の手續

この審査は、管理者から提出された一般会計歳入歳出決算、決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書が、関係法規に基づいて作成されているかを確認するとともに、各計数に誤りがないかを検証するために、関係帳簿及び証拠書類と照合するとともに、事業が最も効果的に執行され、かつ、これに伴う予算が適正に執行されているかを主眼に審査したほか、必要と認められる審査手續により実施した。

5 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算、決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書については、いずれも関係法規に準拠しており、各計数についても関係帳簿、証拠書類と符合し、誤りのないものと認められた。

また、予算執行も、おおむね適正に行われていることが認められた。

審 查 所 見

令和元年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算は、対前年度比で、歳入が25.8%の増、歳出が27.5%の増である。

予算執行に当たり、市民の貴重な税金である組織市分担金を有効に活用するという認識のもと、引き続き効率的で効果的な事業運営を実施していくことを望む。

また、資金運用については、引き続き、先行きを一層注視し、安全性及び流動性を確保した上で、効率的な運用を行うことを望む。

決算における主な特徴点などは以下のとおりである。

歳入に関する概要

【1款 分担金及び負担金】

1款分担金及び負担金は、組織市3市からの分担金で、平成30年度と比較すると、小平市は、7.4%、6,837万3,000円増の9億8,747万8,000円で、負担率53.67%、東大和市は、8.1%、3,245万3,000円増の4億3,127万5,000円で、負担率23.44%、武蔵村山市は4.8%、1,917万4,000円増の4億2,124万7,000円で、負担率22.89%、3市の合計では、7.0%、1億2,000万円増の18億4,000万円である。

【2款 使用料及び手数料】

2款使用料及び手数料は、行政財産使用料条例に基づき徴収した組合敷地内の電柱、自動販売機等の土地及び建物使用料であり、収入済額は、3万1,086円である。

【3款 国庫支出金】

3款国庫支出金は、循環型社会形成推進交付金として、処理施設の整備事業及び施設整備に関する計画支援事業に対して交付された国庫補助金であるが、当初予算6億8,854万5,000円のところ、繰越明許費に伴う財源として7,856万6,000円を前年度から繰り越し、合計して、予算現額7億6,711万1,000円となり、全額を収入している。

【4款 財産収入】

4款財産収入は、職員退職手当基金、財政調整基金及び施設整備基金の利子であり、定期預金での運用を行った。当初予算199万5,000円のところ、定期預金での運用益があったため104万

円の増額補正をし、収入済額は、303万6,133円である。

【5款 繰入金】

5款繰入金は、財政調整基金及び施設整備基金からの繰入金として当初予算額はそれぞれ1億5,665万4,000円及び1億5,373万円であったが、繰越明許費に伴う特定財源として、施設整備基金1億6,370万円を前年度から繰り越し、また、6款繰越金の増及び歳出の減等に伴い財政調整基金を合計して3,343万円減額補正し、全体の収入済額は、4億4,065万4,000円となっている。

【6款 繰越金】

6款繰越金は、当初予算額2,000万円のところ、平成30年度歳計剰余金の確定に伴い6,010万円を増額補正し、繰越明許費の一般財源として2,775万3,000円を前年度から繰り越し、予算現額を1億785万3,000円としている。収入済額は、1億785万3,701円となっている。

【7款 諸収入】

7款諸収入は、当初予算額1,656万8,000円のところ、施設廃材等の売払い、容器包装リサイクル協会拠出金等により3,924万4,000円を増額補正し、予算現額を5,581万2,000円としている。収入済額は5,266万9,018円となっている。

同款1項1目組合預金利子は、歳計現金の利子で、収入済額は2万5,420円である。対前年度比較では、9.5%、2,654円の減となっている。同款2項1目雑入は、鉄くず、焼鉄及びアルミくずの売払い及び、容器包装リサイクル協会拠出金等で、収入済額は5,264万3,598円である。対前年度比較では、110.9%、2,768万6,554円の増となっている。

【8款 組合債】

8款組合債は、不燃・粗大ごみ処理施設整備事業に伴う組合債である。当初予算額12億7,250万円、補正はなく当初予算額どおり収入し、対前年度比較では、18.9%、2億220万円の増となっている。

以上により、歳入全体では、当初予算額41億5,000万円のところ6,697万7,000円の増額補正を行い、繰越明許費に伴う財源として2億7,001万9,000円を前年度から繰り越し、収入済額は44億8,385万4,938円で、調定額に対する収入割合は100.0%となり、不納欠損額、収入未済額はいづれもなく決算をしている。対前年度と比較すると、25.8%、9億2,080万377円の増となっている。

歳出に関する概要

【1款 議会費】

1款議会費は、当初予算額285万2,000円のところ、行政視察に係る借上料等の残額10万2,000円の減額補正を行い、支出済額は、255万5,430円、不用額19万4,570円、執行率は、92.9%となっている。なお、議会費では議員報酬が75.5%を占めている。

【2款 総務費】

2款総務費1項1目一般管理費は、管理者をはじめとする特別職及び一般職員の給料、職員手当、共済費等の人件費が主な内容である。当初予算額2億2,244万7,000円のところ、職員の異動等による変動分を精査したこと、13節委託料で、契約差金が生じたことなどにより、141万3,000円の減額補正を行い、支出済額は2億1,899万9,969円、不用額は203万4,031円、執行率は99.1%となっている。

同項2目財産管理費は、建物及び庁用車の保険料、土地借上料、基金積立金が主な内容となっている。当初予算2億5,079万円のところ、平成30年度歳計剰余金の確定、及び容器包装リサイクル協会拠出金を積み立てるため25節積立金を増額するなど、全体では6,900万6,000円の増額補正を行っている。支出済額は3億1,935万1,023円、不用額44万4,977円、執行率99.9%となっている。

同款3項1目余熱利用施設費は、こもれびの足湯の運営に伴う清掃用消耗品、光熱水費、建物損害保険料、施設維持管理業務委託費、設備工事費などが主な内容となっている。当初予算834万7,000円、支出済額730万2,400円、不用額104万4,600円、執行率87.5%となっている。

2款総務費全体では、当初予算額4億8,239万2,000円のところ、合計6,759万3,000円の増額補正により、予算現額は5億4,998万5,000円、支出済額5億4,640万5,709円で、不用額357万9,291円、執行率99.3%となっている。

【3款 塵芥処理場費】

3款塵芥処理場費1項2目塵芥処理維持管理費は、施設の修繕・工事、最終処分場への焼却残渣の運搬等の業務、ごみ焼却施設・粗大ごみ処理施設の運転業務等、ごみ処理施設の運営・維持管理に要した経費が計上されている。当初予算11億9,864万9,000円のところ、11節需用費で、薬品油脂類及び光熱水費を減額し、15節工事請負費で、4号炉のバグフィルターろ布取替等の補修

に要する経費を増額するなど、全体で4,573万7,000円を増額補正したことにより、予算現額を12億4,438万6,000円としている。支出済額12億468万8,366円、不用額3,969万7,634円、執行率96.8%となっている。

同項3目資源物処理維持管理費は、資源物中間処理施設の運転業務、選別後の残渣の運搬業務等、資源物中間処理施設の運営・維持管理に要する経費が計上されている。

当初予算2億4,892万5,000円のところ、薬品油脂類の減額などにより284万9,000円減額補正し、予算現額を2億4,607万6,000円としている。支出済額2億4,267万673円、不用額340万5,327円、執行率98.6%となっている。

同款2項1目塵芥処理場建設費は、施設の整備・更新に係る調査・計画、工事等に要した経費が主な内容である。当初予算21億9,495万5,000円のところ、前年度からの繰越明許費2億7,001万9,000円を加え、15節工事請負費で小平市道第A-3号線移設工事が年度内に完了しないことから予算を皆減したことなどにより、4,183万2,000円減額補正し、予算現額を24億2,314万2,000円としている。支出済額24億644万2,990円、翌年度繰越明許費1,628万7,000円、不用額41万2,010円、執行率99.3%となっている。

3款塵芥処理場費全体では、当初予算額36億4,291万2,000円のところ、合計105万6,000円増額補正し、前年度からの繰越明許費2億7,001万9,000円と合わせて、予算現額を39億1,398万7,000円としている。支出済額38億5,412万4,101円、翌年度繰越明許費1,628万7,000円、不用額4,357万5,899円、執行率98.5%となっている。

【4款 公債費】

4款公債費は、3市共同資源物処理施設整備事業、及び不燃・粗大ごみ処理施設整備事業の起債に対する利子の償還に要した経費で、当初予算額330万6,000円のところ、157万円の減額補正により、予算現額173万6,000円、支出済額は173万5,551円となっている。

【5款 予備費】

5款予備費では、当初予算額1,853万8,000円で、予備費の充当はない。

以上、予備費を含めた歳出合計は、当初予算額41億5,000万円のところ、差し引き合計6,697万7,000円の増額補正をし、前年度繰越明許費2億7,001万9,000円と合わせて予算現額を44億8,699万6,000円とし、支出済額44億482万791円、翌年度繰越明許費1,628万7,000円、不用額6,588万8,209円、執行率98.2%をもって事業

が執行されている。

補正予算について

補正予算の措置については、以下の内容で3回行っている。

補正予算（第1号） — 令和元年5月29日 5月臨時会 —

4号炉バグフィルターろ布取替等の補修工事を実施するため、3款1項2目塵芥処理維持管理費15節工事請負費を6,998万4,000円増額し、その財源として5款1項1目財政調整基金繰入金を同額増額している。

補正予算（第2号） — 令和元年11月20日 11月定例会 —

歳入では、平成30年度歳入歳出決算剰余金の確定に伴い、5款1項1目財政調整基金繰入金を3,005万円減額し、6款1項1目繰越金を6,010万円増額している。

歳出では、平成30年度歳計剰余金の確定に伴い、その2分の1を財政調整基金に積み立てることにより、2款1項2目財産管理費25節積立金を3,005万円増額している。

補正予算（第3号） — 令和2年2月19日 2月定例会 —

ごみ焼却施設環境影響評価業務委託については、手続きが想定よりも期間を要していることから、繰越明許費を設定し、小平市道第A-3号線移設工事は、今後の新ごみ焼却施設の整備に向けて早期の完了が必要なことから、年度内に契約を行うため、債務負担行為を追加している。

歳入では、2款1項1目総務使用料では、自動販売機1台分の使用料2万3,000円を増額している。4款1項1目利子及び配当金では、定期預金による運用益があったことにより104万円増額している。5款1項1目財政調整基金繰入金では、歳出の減により7,336万4,000円減額している。7款2項1目雑入では、施設廃材などの売り払いがあったことなどによる124万4,000円、容器包装リサイクル協会拠出金3,800万円を増額している。

歳出では、2款総務費、1項1目一般管理費では、職員の異動等による変動分を精査したことに伴い、1節報酬、2節給料、3節職員手当等で差し引き合計180万円を増額し、11節需用費、13節委託料、14節使用料及び賃借料及び18節備品購入費で、実績が見込みより下回ったこと、契約差金が生じたことなどにより270万7,000円を減額している。

19節負担金、補助及び交付金では、えんとつフェスティバルが台風の接近のため中止となり、補助金の一部が返還されたことにより50万6,000円減額している。

同項2目財産管理費では、主に25節積立金で、容器包装リサイクル協会拠出金を財政調整基金に積み立てることなどにより3,895万6,000円増額している。

3款塵芥処理場費、1項2目塵芥処理維持管理費では、11節需用費で、薬品油脂類及び電気料金等の減により703万6,000円の減額、13節委託料では、小型家電のリサイクルについて有償で売払いができたため、再資源化委託料228万9,000円の減額をしている。15節工事請負費では、4・5号ごみ焼却施設の延命化工事のうち、年度内に実施できない工事があり、当該工事分1,465万2,000円を減額し、27節公課費で、硫酸化物の排出量が見込みより下回ったことにより、大気汚染負荷量賦課金を27万円減額している。

同項3目資源物処理維持管理費では、11節需用費で、油圧作動油の交換が不要となったことなどにより薬品油脂類を167万1,000円減額し、13節委託料で、搬入物検査を職員が試行的に行ったことにより、環境測定を117万8,000円減額している。

同款2項1目塵芥処理場建設費では、13節委託料で、技術支援業務委託の契約差金による減及びごみ焼却施設環境影響評価業務委託料の増により658万8,000円を増額、15節工事請負費で、小平市道第A-3号線移設工事が年度内に完了しないことが見込まれることから2,725万円を皆減し、同様の理由で19節負担金、補助及び交付金を2,090万円減額している。

4款公債費では、平成30年度に借り入れた起債について、当初見込んでいた借入利率を下回る利率となったことなどにより、157万円減額している。

ごみ処理施設の補修工事等について

3款1項2目塵芥処理維持管理費15節工事請負費のうち、3号ごみ焼却施設及び4・5号ごみ焼却施設では、両焼却施設設計で29件の工事を行い、合計4億5,570万2,700円を支出した。

粗大ごみ処理施設の工事はなく、工事請負費全体では、31件の補修工事等を実施し、総額4億6,539万3,700円を支出している。

業務委託について

令和元年度の塵芥処理維持管理費の業務委託の中で主要なものとしては、ごみ焼却施設の運転業務2億5,937万6,400円、廃棄物運搬等業務8,716万1,850円、粗大ごみ処理施設運転業務3,073万8,000円などである。

委託内容別に見ると、処理・処分等委託では、前掲の廃棄物運搬等業務のほか、投入監視・計量業務948万3,000円、破碎不燃物再資源化417万2,699円、犬猫死体処分193万7,3

88円、などがあり、合計1億344万7,812円を支出している。

施設等維持管理委託では、プラント運転として、前掲のごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設運転業務のほか、不燃・粗大ごみ処理施設の試運転346万5,000円、処理場清掃業務として、炉内・煙突・汚水槽等の清掃委託で1,939万800円、調査設計業務として、精密機能検査312万9,500円、合計3億1,609万9,700円を支出している。

測定等委託では、環境測定及びダイオキシン類等測定を行い、合計で842万5,580円を支出している。

機器等保守整備委託では、機器保守点検に5,791万2,380円を支出している。

塵芥処理維持管理費委託料全体では、合計4億8,588万5,472円を支出している。

資源物処理維持管理費では、処理・処分等委託として、主に廃棄物の運搬等1,752万7,200円、容器包装再商品化158万2,574円など、1,924万4,634円、施設等維持管理委託では、主に資源物中間処理施設運転1億9,620万円、清掃業務141万9,887円などで、1億9,830万8,987円、測定等委託では、作業環境測定、臭気測定など124万9,600円、機器等保守整備委託では、クレーン点検、エレベーター保守など603万553円を支出している。

資源物処理維持管理費委託料全体では、合計2億2,483万3,774円を支出している。

組合債について

4款公債費、1項1目元金の償還はなく、同項2目利子では、起債元金に対する利子で、173万5,551円の支出を行っている。

決算年度末の未償還額は、平成28年度から令和元年度起債分の元金30億5,660万円、利子1,660万5,820円、合計30億7,320万5,820円となっている。

財産について

公有財産の土地、建物及び物品については、建物で資源物中間処理施設及び不燃・粗大ごみ処理施設の整備に伴い、合計で8,740.62㎡増加している。物品については、軽自動車ほかで計6台増加している。

基金については、3つあり、職員退職手当基金については、組合固有職員の年間給料の8%相当額と利子分を合わせて積み立てを行っている。決算年度中の増減額は、積立金154万5,000円、利子分等3万7,000円、合計158万2,000円を積み立て、決算年度末現在額は3,482

万8,000円となっている。

財政調整基金は、平成30年度繰越金の一部4,005万997円、容器包装リサイクル協会からの拠出金3,800万円、利子分等46万2,003円、合計7,851万3,000円を積み立て、1億2,322万4,000円の繰り入れを行い、決算年度末現在額は3億7,186万8,000円となっている。

施設整備基金は、分担金の施設整備基金部分1億5,300万円、及び利子分等253万8,000円、合計1億5,553万8,000円を積み立て、1億5,373万円の繰り入れを行い、決算年度末現在額は26億4,423万3,000円となっている。

運用については、すべての基金において、大口定期預金を利用して運用を図っている。

その他の現金については、指定金融機関等において保管、運用されている。

参 考 资 料

目 次

1	決算の規模	1
2	資金の状況	2
3	小平・村山・大和衛生組合一般会計	
	(1) 歳 入	
	第1款 分担金及び負担金	3
	第2款 使用料及び手数料	3
	第3款 国庫支出金	3
	第4款 財産収入	3
	第5款 繰入金	4
	第6款 繰越金	4
	第7款 諸収入	4
	第8款 組合債	4
	(2) 歳 出	
	第1款 議会費	5
	第2款 総務費	5
	第3款 塵芥処理場費	5
	第4款 公債費	5
	第5款 予備費	5
4	財産に関する調書	
	(1) 公有財産	6
	(2) 物 品	6
	(3) 基 金	6

1 決算の規模

令和元年度決算の概要は、次のとおりである。

区 分	歳 入	歳 出	歳入歳出差引額	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支
令和元年度	4,483,854,938 円	4,404,820,791 円	79,034,147 円	16,287,000 円	62,747,147 円
平成30年度	3,563,054,561 円	3,455,200,860 円	107,853,701 円	27,753,000 円	80,100,701 円

令和元年度の決算額は、歳入44億8,385万4,938円、歳出44億482万791円、翌年度に繰り越すべき財源として繰越明許費繰越額1,628万7,000円、実質収支6,274万7,147円である。

対前年度比は、歳入が25.8%の増、歳出が27.5%の増である。

歳入では、4款財産収入以外は、いずれも増となっている。

歳出では1款議会費から4款公債費まで、いずれも増となっている。

2 資金の状況

単位:円

区 分	第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月～3月)	出納整理期間 (4月～5月)	合 計
前期残 (A)	-	437,833,070	570,023,677	576,510,757	2,580,043,633	-
収 入 (B)	923,326,115	463,200,221	461,289,931	2,630,682,981	5,355,690	4,483,854,938
支 出 (C)	485,493,045	331,009,614	454,802,851	627,150,105	2,506,365,176	4,404,820,791
(A)+(B)-(C)= (D)	437,833,070	570,023,677	576,510,757	2,580,043,633	79,034,147	-
資金融通	借 (E)	-	-	-	-	-
	繰戻 (F)	-	-	-	-	-
資金融通	貸 (G)	-	-	-	-	-
	繰戻 (H)	-	-	-	-	-
一時借入金	借入 (I)	-	-	-	-	-
	返済 (J)	-	-	-	-	-
繰 越 金 (K)	437,833,070	570,023,677	576,510,757	2,580,043,633	79,034,147	79,034,147

出納閉鎖時における収入済額は、44億8,385万4,938円、支出済額は、44億482万791円、歳入歳出差引額7,903万4,147円が翌年度に繰越されている。

主な収入として、第1四半期は組織市からの分担金5億7,100万円、前年度繰越事業費充当国庫補助金7,856万6,000円、同繰入金1億6,370万円、及び前年度繰越金(繰越事業費充当分含む)1億785万3,701円、第2四半期は分担金4億5,800万円、第3四半期は分担金4億5,800万円、第4四半期は分担金3億5,300万円、組合債12億7,250万円、国庫補助金6億8,854万5,000円が収入されている。

主な支出としては、第1四半期に、3市共同資源物処理施設整備工事2億6,323万3,260円、出納整理期間に、不燃・粗大ごみ処理施設整備工事20億8,608万480円、それ以外の支出では、全期間をとおして経常的な経費が主なものである。

当年度の資金運用の利子は、職員退職手当基金3万6,770円、財政調整基金46万2,003円、施設整備基金253万7,360円の計303万6,133円で、適切に運用が図られている。

3 小平・村山・大和衛生組合一般会計

(1) 歳入

1款 分担金及び負担金

令和元年度決算額	平成30年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
1,840,000,000 円	1,720,000,000 円	120,000,000 円	7.0 %

① 令和元年度分担金額及び負担率

区分 市別	分担金の負担率	分担金額	備考	
			ごみ搬入量 (平成29年度実績)	資源物搬入量 (令和元年度計画搬入量)
小平市	53.67 %	987,478,000 円	38,585.11 t	2,705.00 t
東大和市	23.44	431,275,000	15,392.17	1,088.00
武蔵村山市	22.89	421,247,000	15,494.48	844.00
計	100.00	1,840,000,000	69,471.76	4,637.00

② 分担金の性質別内訳(前年度比較)

区分	令和元年度	平成30年度	比較増減額
人件費	200,588,067 円	193,204,004 円	7,384,063 円
物件費	938,830,236	808,348,039	130,482,197
維持補修費	501,134,749	398,168,960	102,965,789
扶助費	1,195,000	1,220,000	△ 25,000
補助費等	2,522,506	23,644,486	△ 21,121,980
普通建設事業費	1,583,300	89,260,880	△ 87,677,580
公債費	1,735,551	1,296,871	438,680
積立金	192,410,591	204,856,760	△ 12,446,169
合計	1,840,000,000	1,720,000,000	120,000,000

2款 使用料及び手数料

令和元年度決算額	平成30年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
31,086 円	9,769 円	21,317 円	218.2 %

3款 国庫支出金

令和元年度決算額	平成30年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
767,111,000 円	567,380,000 円	199,731,000 円	35.2 %

4款 財産収入

令和元年度決算額	平成30年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
3,036,133 円	3,437,240 円	△ 401,107 円	△ 11.7 %

5款 繰入金

令和元年度決算額	平成30年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
440,654,000 円	77,109,000 円	363,545,000 円	471.5 %

6款 繰越金

令和元年度決算額	平成30年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
107,853,701 円	99,833,434 円	8,020,267 円	8.0 %

7款 諸収入

令和元年度決算額	平成30年度決算額	対前年度比較		
		増減額	増減率	
52,669,018 円	24,985,118 円	27,683,900 円	110.8 %	
預金利子	25,420	28,074	△ 2,654	△ 9.5
雑入	52,643,598	24,957,044	27,686,554	110.9

雑入内訳

区 分	令和元年度決算額	平成30年度決算額	比較増減
アルミくず売払い	325,634 円	867,330 円	△ 541,696 円
アルミ流れ売払い	693	23,305	△ 22,612
鉄くず売払い	3,389,424	4,566,651	△ 1,177,227
破碎鉄くず売払い	2,381,224	5,757,599	△ 3,376,375
焼鉄くず売払い	3,290,192	7,773,449	△ 4,483,257
施設廃材等売払い	1,194,989	3,907,838	△ 2,712,849
有価物(廃家電等)売払い	722,943	778,461	△ 55,518
小型家電等売払い	7,561	95,258	△ 87,697
古紙の売払い	7,640	17,298	△ 9,658
全国市長会任意共済制度事務費等	45,852	57,336	△ 11,484
消費電気料	66,120	49,361	16,759
容器包装リサイクル協会拠出金	40,186,276	0	40,186,276
焼却灰中の硬貨の換金分	52,552	103,065	△ 50,513
放射能測定に要した費用の賠償金	894,240	894,240	0
都市ガス等使用に伴う請求分	19,039	21,456	△ 2,417
再任用職員雇用保険料	59,219	43,727	15,492
情報公開電子式複写代金	0	670	△ 670
計	52,643,598	24,957,044	27,686,554

8款 組合債

令和元年度決算額	平成30年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
1,272,500,000 円	1,070,300,000 円	202,200,000 円	18.9 %

(2) 歳 出

1款 議会費

令和元年度決算額	平成30年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
2,555,430 円	2,133,066 円	422,364 円	19.8 %

主な増減

・旅費の増	227,986 円
・使用料及び賃借料の増	200,256 円

2款 総務費

令和元年度決算額	平成30年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
546,405,709 円	482,920,127 円	63,485,582 円	13.1 %

主な増減

・賃借料(土地借上料)の増	51,865,166 円
・積立金の増	27,339,000 円

3款 塵芥処理場費

令和元年度決算額	平成30年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
3,854,124,101 円	2,968,850,796 円	885,273,305 円	29.8 %

主な増減

・委託料(資源物中間処理施設)の増	224,833,774 円
・工事請負費(施設整備)の増	657,306,900 円

4款 公債費

令和元年度決算額	平成30年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
1,735,551 円	1,296,871 円	438,680 円	33.8 %

公債費償還額

	元 金	利 子	合 計
財政融資資金等	0 円	1,735,551 円	1,735,551 円

5款 予備費

区 分	令和元年度決算額	平成30年度決算額	対前年度増減
予備費支出額	0 円	236,000 円	△ 236,000 円
件 数	0 件	1 件	△ 1 件

4 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地	10,204.84 m ²	前年度同様増減なし
建物	18,778.46 m ²	対前年度比較8,740.62m ² 増

(2) 物品(50万円以上)

普通乗用車等	12台	対前年度比較6台増
--------	-----	-----------

(3) 基金

基金の年度中増減額

職員退職手当基金	1,582,000 円
財政調整基金	△ 44,711,000
施設整備基金	1,808,000
計	△ 41,321,000

基金の決算年度末現在高

職員退職手当基金	34,828,000 円
財政調整基金	371,868,000
施設整備基金	2,644,233,000
計	3,050,929,000